

緊急避妊薬(アフターピル)の処方について

当院では、避妊に失敗してしまったときの緊急避妊薬(アフターピル)処方をしています。

緊急避妊薬は、何らかの理由で避妊に失敗してしまった場合、望まない妊娠を避けるための緊急手段として服用するホルモン剤です。

服用すれば、妊娠を回避できる可能性(妊娠阻止率)が高まりますが、薬剤によって差がありますので下記の説明をご覧ください。

ノルレボ錠 1.5 mg

厚生労働省に認可され、2011年に発売された薬剤です。

妊娠阻止率 81%(日本報告) 85%(海外報告)

性交後72時間以内に1回1錠を服用します。

副作用は、不正出血、吐き気や頭痛、倦怠感などです。

服用が1回なので、副作用も一過性で重くなりません。

費用(服薬指導・処方料・薬剤料) 10,000円+消費税

ヤッペ法(プラノバル錠服用)

ノルレボ錠が発売されるまで使われてきた薬剤です。

妊娠阻止率 57%(海外報告)

性交後72時間以内に2錠を服用し、その後、12時間後にもう1回2錠を服用します。(合計2回4錠)

半数の方に吐き気が出現し、嘔吐してしまう人もいます。

その他に、頭痛などの副作用があります。

※ヤッペ法は妊娠阻止率が低いため、おすすめしません。

費用(服薬指導・処方料・薬剤料) 5,000円+消費税

処方をご希望の方は、下記の受付時間内に
1階総合受付で受付し、産婦人科までおこしてください。

月～金曜日 午前 8:00 ～ 11:00

火曜日 午後12:30 ～ 15:00

